

タイトル	バカルディ壘詰め工場(フレーム模型)
ご提供	齋藤 公男 <sup>1)</sup> 岡田 章 <sup>2)</sup>

現存する薄肉コンクリートによる世界最大規模のHPシェル。

スパン30メートルのHPユニットの並列配置により、90メートル×60メートルのプランを覆う。1959年の建設当初は鞍型交差HPシェルを3個並列したものであったが、71年にさらに3棟を増築し、現在の3連2列の姿となった。

シェルの接合部分にはスリットが取られ、妻側は全面ガラス張りで、キャンデラの作品中もっとも開放的な空間となっている。シェル厚4センチという薄さがシャープに際立ち、白いシェルが青空に融けていくかのようなようである。

HP曲面は二方軸の直線群から成立しているので、直材で型枠を成型でき、アーチよりも施工がシンプルだと、キャンデラは主張している。



図1 鞍型交差HPシェル模型

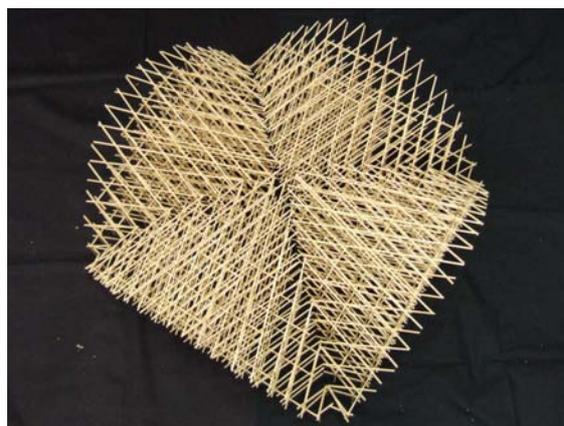


図2 型枠のためのフレーム模型



図3 工場外観写真



図4 工場内観写真

1) 日本大学理工学部教授 工学博士 2) 日本大学理工学部助教授 工学博士